コーディネーター
CO新聞
H23.10.4 号
掲示・HP 用

『やさい』をとって　元気なからだ！

肢体不自由マメ知識②

『股関節』の話です。
動きの少ない子どもによく起こる『股関節脱臼』。
実は、歩くことができる子どもにも起こることがあり、姿勢作りや運動指導など、日ごろからの指導が大切です。

＜脱臼を防ぐためにどうすればいいの？＞

「や・さ・い」をたくさんとりましょう。

「や」柔らかい関節をつくりましょう。
ストレッチをおこなって、筋肉の柔軟性を養うことが大切です。

「さ」左右対称姿勢をとりましょう。
捻(ね)じれのない姿勢をとる習慣づくりが大切です。

「い」いろんな姿勢をとりましょう。
座ること、立つこと、歩くことは骨と筋肉の成長につながります。

「さ」左右対称姿勢

骨盤の歪みは股関節に影響します。

（望月）

ありがとうございました！！

８月８日に「学校間連携部会」ならびに新宮東牟婁特別支援教育研究会「コーディネーター研修会」を開催しました。

今年度は、和歌山県教育委員会学校指導課特別支援班津村孝幸先生をお招きして､｢個別の計画の作成と活用｣をテーマに講演会を行いました。個別の指導計画と教育支援計画の関連性から始まり、個別の指導計画の実態把握や情報収集の重要性、作成のポイント等について、講演いただきました。

その後の分科会では、２グループに分かれて、事例をもとに、実態把握から実際に個別の指導計画を部分的に作成しました。実際に意見をやりとりする中で、生活年齢に対応した指導や個別対応だけでなく集団へのアプローチの重要性についての意見も出され、より具体的な計画や支援について迫ることができました。また、チームによって作り上げることの大切さを感じることができ、地域の先生同士、地域の先生と支援学校の先生との顔と顔とをつなぐ会にもなりました。たくさんのご参加ありがとうございました。

（佐々木）